

子どもの水難事故死者数^{※1}は、 交通事故^{※2}の約半分もあります。

2003-2013 年の間の子ども（中学生以下または 15 歳以下）の死者数を比べてみると交通事故は 1580 人に対し、水難事故は 774 名と約半分。

交通事故



水難事故



(海・河川・湖沼・
用水路・プール等)

※1 水難事故のデータ（警察庁）では、中学生以下を子どもと定義されている

※2 交通事故のデータ（警察庁）は、15 歳以下を参照した

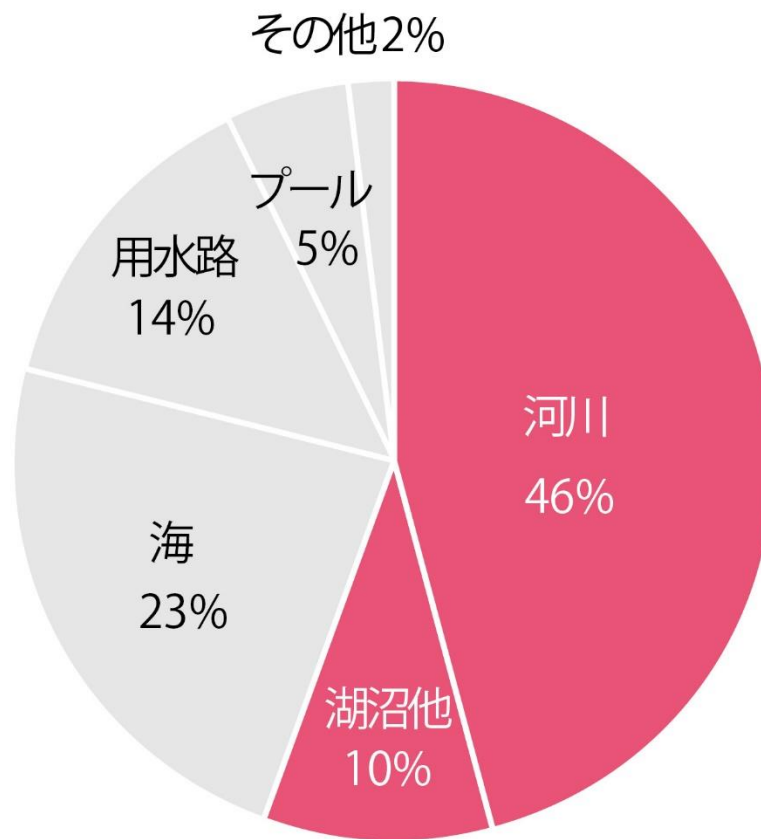


子どもの水難死亡事故の 約6割は「川や湖」

2003-2013年の間の場所別の水死者総数
(中学生以下の「子ども」)によると約6割
は河川や湖沼等で亡くなっています。

これは海で亡くなった人数の
2倍以上です。

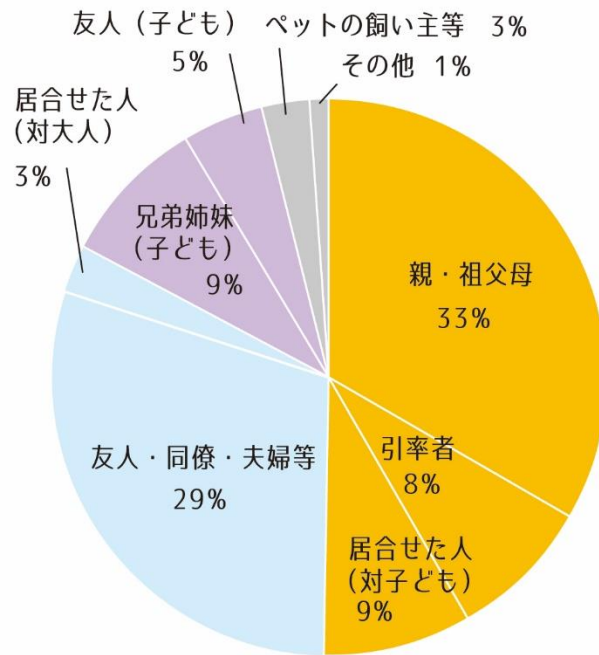
川はそれだけ子どもにとって
身近であるとともに不慮の
事故に遭いやすい場所と
言えます。



場所別水死者総数 (子ども)
(H15-H25 警察庁資料より河川財団作成)

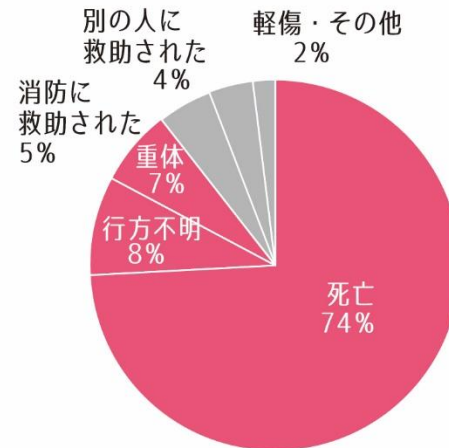
助けに行っていて亡くなる人もいます

子どもや友達など助けようとして自分自身が被害に遭うケース（二次災害）もあり、それら二次災害の9割は死亡等の深刻な被害に至っています。



二次災害の被災者属性

- 子どもに対する救助行動
- 大人同士の救助行動
- 子ども同士の救助行動



二次災害の被災者状況

河川財団が2003-2013年の間マスコミ（新聞・テレビ等）の報道より収集した水難事故事例1861件のうち、同行者や近くに居合せた人などによって救助行動が行われた際に新たな水難事故が発生した事例105件を整理

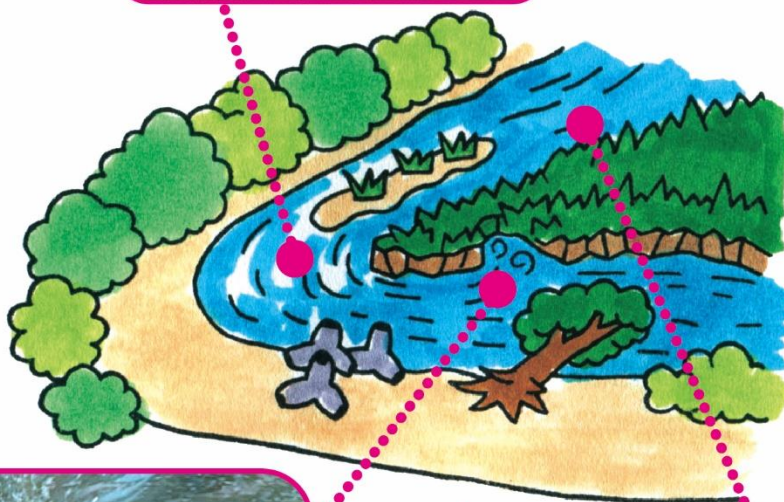
川の表面は穏やかでも 水中は注意！

川の事故の約 90% は、
穏やかな流れや浅瀬で発生。

川は一見穏やかに見えても、
急に深くなる所や、
滑りやすい所がある。



浅瀬に
見えても…
中は激流！



穏やかな
流れの中は、
**渦を巻いている
ことも！**



川底は滑り易かったり
石につまづいて転びやすい

穏やかな
流れに見えても…
**急に深くなる！
滑りやすい！**





最も必要なのは、息ができること。

致命的な外傷や低体温症等を除き、死因の最も大きな要因を占めるのは、
息ができないことによる溺死です。

浮力の確保

人間は、水の中では息ができません。

呼吸をするためには、常に頭部を水面上に出す必要があります。

ちゃんとしたライフジャケットを正しく着用していれば水面でも呼吸を確保できます。



いきができない



いきができる





川遊び用 ライフジャケット

解説

ファスナー

ずり下がりにくい構造

ベルト

各種のベルトを調整することで、体型に合わせてぴったりフィット。

ホイッスル

河原では声が届きにくい
ため、助けを呼ぶには
ホイッスルが有効

色

目立つ色にすることで、
いざというときにどこ
にいるかが分かる。

大人用
(男女兼用)

子ども用
(男女兼用)

左記機能に加え、

股ベルト (子ども用のみ)

子どもは体が小さいので落水時に
脱げないように、股下にベルトの
付いているものをチョイス!

小学校低学年から
高学年まで長く使える
パールでも使える所がある



ライフジャケットが生死を分けた例

ライフジャケットを着用していて命が助かった事例が、ライフジャケット着用の有効性を示唆しています。

同一条件下（日時・場所・天候等）でライフジャケットを着用して助かった主な事例

事例 1

2007年8月
徳島県 吉野川
川下りのカヌーが転覆。
乗っていた3人のうち、**ライフジャケット着用**の2名は岸まで泳ぎ無事だった。
ライフジャケット未着用の1人が流され死亡。

事例 2

2011年9月
北海道 札内川
川遊び中に丸太に乗っていた2人の中学生が川に落ちた。
1人は自力で岸に上がったが、**ライフジャケットを着用していなかった**1人が流され死亡。

河川財団が2003-2013年の間マスコミ（新聞・テレビ等）の報道より収集した水難事故事例1861件のうち、「救命胴衣」または「ライフジャケット」の有無について記載がある事例を抽出。それらの事例の中から、同一条件下（日時・場所・天候等）にある複数の河川利用者のうち、ライフジャケットを着用者・未着用者が混在していた事例を抽出・整理。



川の活動で
必読

水辺の安全ハンドブック

水辺での活動のポイントをまとめています。

Youtube
でも公開



安全な川遊びのために

川での注意点等を映像で紹介しています。



水辺のひやりはっとNOTE

水辺でのひやりとした出来事を集め、その傾向等を紹介しています。

河川財団における安全利用の広報資料・活動例

ライフジャケット等のレンタル

学校教育への普及展開

携帯でも
検索できます



全国の水難事故マップ

水難事故の発生個所や発生状況等を地図上に表示しています。



ライフジャケット
(大人用)

水辺活動
に必須



ライフジャケット
(子ども用)



RAC 学校
連携事業



ヘルメット



スローロープ
(救助用)